

教育広報

いわみざわ市の教育



…特集… 親子体験教室でいつもと違う何かを再発見！



芸術の秋 ～文化祭に来ませんか～



ブックスタート



みるきいルーム

教育委員会では、赤ちゃんのときから本に親しんでもらえるよう、新しい取組を行っています。

保健センターでの健診時に絵本の読み聞かせなどを行う「ブックスタート」を 7 月から開始。また、市立図書館には、赤ちゃんへの授乳や休憩に利用できる「みるきいルーム」を設置しました。

11 月からは「ベビカフェ」も実施する予定です。(3 ページでも紹介しています。)

岩見沢市教育委員会ツイッター

市教委 HP の更新情報や、イベント情報などをつぶやいています！

ぜひ、フォローしてください。

http://twitter.com/iwamizawa_edu



親子体験教室で

いつもと違う何かを再発見!

親子体験教室とは？

お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に、スポーツや趣味、日本の伝統文化などを学習することを通して、親子のコミュニケーションを豊かにし、子育ての喜びを感じてもらうために、また、親には普段見られない子どもの姿を、子どもには親の輝きやぬくもりを、互いを感じてもらうために、今年度から実施しています。これからも、1年を通して実施しますので、参加をお待ちしています。今年度はこれまでに2回、けん玉教室と料理教室を実施しました。今号では、これら二つの教室の様子を紹介します。

☆けん玉教室

親子体験教室の第1回目として、けん玉パフォーマーの「ずくまだんけ」の2人を講師に迎え、7月29日(月)に「けん玉教室」を実施しました。夏休み期間中ということもあり、たくさん親子が参加しました。

披露してくれました。けん玉パフォーマーならではの見事な技の数々に、子どもも親も大変感動していました。けん玉で遊ぶことの楽しさが伝わる実演でした。



その後、講師の2人に教わりながら親子で実際にけん玉の使い方を練習しました。けん玉を普段使いの慣れないため、皆さん最初は大変苦労していましたが、最後は大



分上達した様子でした。特に子どもは覚えが早く、あつという間に上手にけん玉を使いこなせるようになる子どももいました。そんな子どもに負けずに技を覚えようとする親。とても楽しそうでした。

☆料理教室

第2回目の親子体験教室として「料理教室」を7月30日(火)に実施しました。第1回目に引き続き、多数の親子が参加していました。今回の料理教室では、「栄養サポートブースタッフ」の皆さんを講師に迎え、休みの日に子どもに朝食を作って



調理の際には、器や包丁などを慣れない手つきで使う子どもの手に、親がそつと手を添えるなど、親子が協力しながら調理している様子がたくさん見受けられました。今回の料理教室を通して、親は普段あまり見ることのない新しい子どもの姿を再発見したようです。

今後の親子体験教室の日程は、決まり次第教育委員会ホームページ等でお知らせします。





芸術の秋



～文化祭に来ませんか～

開基130年・市制施行70周年記念事業

第61回市民の文化祭

とき 10月26日(土)・27日(日)
 ところ まなみーる(9条西4丁目)
 テーマ 文化の輪を広げよう

市民の文化祭も今年で61回目を迎えます。市民や市内の文化団体が、日頃の活動で作した作品の展示や舞台芸術の発表を通して、文化芸術のすばらしさを市民の皆さんに広く知ってもらい、岩見沢市全体の文化活動の発展につなげていくことを目的として毎年開催されています。

昨年度は、約4200人と大変多くの方が来場してくれました。特に、平成23年度24年度と2年連続の開催となった、特別アトラクションのフラワーアレンジメント講習会は大変好評で、たくさんの方が参加がありました。

今年度は、岩見沢市開基130年、市制施行70周年ということもあり、岩見沢をイメージした作品の展示コーナーが用意されます。そのほかにも、「箏曲演奏会とお琴体験」、「川柳を楽しもう」を新たに実施しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

開基130年・市制施行70周年記念事業

第54回子ども文化祭

とき 10月17日(木)～20日(日)
 ところ まなみーる(9条西4丁目)
 テーマ みどりのまちに広がる文化
 心ゆたかにはばたく子ども

子ども文化祭は、児童生徒の学習の成果を広く市民の皆さんに知ってもらうことを目的に毎年開催されています。

市内の小中学校全25校の児童生徒が、普段の学習や課外活動、文化活動を通じて創作した作品



作品展示会

を展示するとともに、日頃練習した英語暗唱や合唱、器楽、吹奏楽などの音楽を発表しています。

昨年度は、「練習の成果を生き生きと発表する児童生徒の姿を見ることが出来る」、「子どもたちの作品を見ることが出来る貴重な機会である」といった声が聞かれ大変好評でした。

今年度も、児童生徒の努力の成果を感じることが出来るような発表、展示などをたくさん用意していますので、ぜひご来場ください。



音楽発表会

フラワーアレンジメント講習会



展示発表「菊花」

ベビカフェのお知らせ

市立図書館では、絵本と出会って間もない赤ちゃんが、将来にわたって多くの本に親しみながら成長していけるように、乳幼児(3歳未満)を対象にした読み聞かせや絵本の紹介、保健師や保育士による子育て・健康相談などを11月から行う予定です。(詳細は市の広報でお知らせします。)

絵本をとおして親子の触れ合いを深めていただけるよう、家庭での読書と子育てを応援します。

新しい ALT を紹介します

A L T は Assistant Language Teacher の略で、日本語では外国語指導助手と訳されます。小・中・高等学校での外国語活動や英語の授業の補助のほか、地域の様々な国際交流活動に参加・協力するなど、国際理解を深める活動をしています。

教育委員会では、現在 9 名の A L T を任用していますが、8 月に 4 名が入れ替わりました。4 名に日本の感想や今後の目標を聞きました。

Yu Edwin

ユー・エドウィン
ニュージーランド出身



感じました。

子どもたちは、本当にかわいくて元気です。子どもたちが英語をもっと話せるように、言葉の壁をなくせるようにがんばることが、私の今の目標です。

東京に着いたときには蒸し暑いと感じましたが、岩見沢は涼しく、また農地が多いところは、故郷の町と似ていると感じました。日本の学校には母国と違うところがあります。例えば母国では教室で一緒に昼食を食べたり、掃除したりはしません。でも日本では、みんなで給食を食べて、みんなで楽しみながら掃除をしています。日本の学校はとてもおもしろいなと感じました。

Loh Yixian

ロー・イーシェン
シンガポール出身



子どもたちは小さいときからこうやって自主性や責任感を学んでいるのか、と驚きました。母国では、教師として 4 年間英語を教えていましたが、ネイティブスピーカーではない生徒に教えるのは初めてです。日本では、子どもたちが英語を大好きになってくれるように、楽しい授業をしたいです。

初めて日本に来たときは、とても緊張していました。しかし学校へ行ってみると、先生方はとてもすばらしく、私は一人じゃないんだと感じることができました。たくさん質問しても丁寧に答えてくれるし、真剣に仕事に取り組む姿には本当に感動させられました。また、子どもたちが掃除をする姿や給食の配膳をする姿から、日本の子どもたちは小さいときからこうやって自主性や責任感を学んでいるのか、と驚きました。

Siewarran Sonia

スーサーラン・ソニア
トリニダード・トバゴ出身



日本を持ってくればいいじゃない」と思いました。いつの日か母国に戻ったときに、日本大使館や大学など、いろんなところで日本をたくさん紹介できるように、日本文化を学びたいと思っています。

日本の先生や生徒たちの勤勉さや意欲には、とても感動しています。すべてのことに対して一生懸命な姿勢は、とてもすばらしいと思います。私の母国から日本へ来ることは、とても難しいです。だから私は「トリニダード・トバゴ」



Edridge Michael

エドレッジ・マイケル
ニュージーランド出身



日本での私の目標は、子どもたちをやる気にさせて、英語を学ぶだけでなく、国際的な人になってもらえるようにすることです。

日本の子どもたちは、とてもすばらしいと思います。掃除のときや給食のとき、校庭で遊ぶときでも、いつも責任感を持って行動しているように感じます。また、雨の日に店の入口にある傘に袋をかぶせる機械や、時間どおりに走る電車など、その一つ一つから日本は本当に効率的で、便利な国だと感じています。



特色ある教育活動



・学校自慢



市内26の小・中学校・市立高校を順に紹介していきます。

地域に根ざした教育活動

栗沢小学校

本校では、地域の豊かな環境や人材を生かした教育活動を行っています。いくつかご紹介します。



花育

一つ目は、全校集会「花育（はないく）」です。地場産業の花き生産に関わり、JAいわみざわ情熱フラワー生産組合などの生産者やフラワーデザイナーのナーの方々を講師に、低学年は花束作り、高学年はアレンジメント作りを行います。今年で7年目になる活動で、特に高学年は手慣れた様子で独創的な作品を作りあげます。できた作品にはメッセージカードを添え、感謝の気持ちを込めて家族にプレゼントします。

二つ目は、5年生の「稲作体験学習」です。栗沢クワインガルトンの水田をお借りし、田植えや稲刈り、もみすり、精米の体験をします。



稲作体験学習

講師をお願いしているJA、空知農業改良普及センター、元農業委員など、稲作に関わる幅広い人々からのお話により、稲の栽培方法だけでなく、稲作の歴史、品種、生産量など、米に関する総合的な学習の機会となっています。また、生産した米は、栗沢地域の伝統食「笹寿司」作りの実習に使用されます。

今後とも地域に根ざした教育活動を推進して行きたいと考えています。

地域と歩む奉仕活動と国際理解教育

清園中学校

本校では、地域と連携した教育活動に力を入れており、生徒会を中心に地域町内会と手を携え、共に歩む活動を進めています。



クリーン作戦

まず、春（5月上旬）と秋（10月下旬）の2回、「クリーン作戦」を行っています。志文町内の通学路を中心に土手や側溝、中央分離帯のごみ拾いを町内会の方々と一緒に、袋いっぱい集まってきたごみを軽トラックで運び、処分する活動です。

また、1月下旬には校区内のふじ町内会と連携し、「独居高齢者宅除雪ボランティア」を行っています。有



除雪ボランティアグループ編製した大雪に苦しみお年寄

りの方々の玄関先を除雪してあります。

特色ある教育活動として、国際理解教育にも力を入れています。2年生の総合的な学習の時間に、JICAの協力で行った海外の方々をお招きして、互いの国を知る交流会を行い、国際的な視野を広げる機会の一つとしています。



国際交流会

中央小学校のPTA活動について

本校のPTAは、学級役員、専門委員、事務局に分かれて、それぞれ活動しています。その一部を紹介いたします。

〈学級役員の活動〉

〇5年生の親子レク

「スポーツチャンバラ」

札幌の「ごさんごスポチャッククラブ」からインストラクターをお招きし、親子で基本から試合まで教えていただきました。



最後は「親対子」の対決もあり、真剣な中にも笑いのある楽しい時間を過ごしました。

〈専門委員の活動〉

〇フラワーアレンジメント

教室

本校の蒲養護教諭が講師となつて行いました。

まず、茎を交差させるスパイラルテクニックを使って、トルコキキョウとバラ

でブーケをつくりまます。次に、ハランをホチキスでとめてカップをつくり、ブーケをセットしてできあがりです。

かわいらしいできればえに、参加した皆さんは大満足！大切に作品を持ち帰りまします。

〈事務局の活動〉

〇花壇の土おこし

学校に7面ある花壇の土おこしを行いました。事前に石灰をまいておき、当日は土を深く掘り返して細かく砕きました。約40名の参加があり、予定より早く作業を終えることができました。



現在、花壇には、おいしそうなミニトマトなどがずらりと並んでいます。

協力してくださった皆さんに感謝しながら収穫していきます。

学校を応援するPTAの取組

～各学校PTAの活動紹介～



市内26の小・中学校・市立高校の単位PTAの活動の様子を順に紹介していきます。

子どもたちのしあわせ目指す緑中PTA

私たち緑中学校PTAは、子どもたち一人ひとりが学習に部活に全力投球できる環境づくりを目指して三役、運営委員を先頭に全員で様々な活動に取り組んでいます。

1 校舎をワックスで磨きます！

年2回会員有志を募って校舎内を磨きます。休み明けには、廊下や教室がピカピカに！生活する子どもたちのやる気がONになる仕上がりです。



2 積極的に学びます！

研修委員会主催の勉強会を毎年開催。昨年度は、「工コバンド講習会」、今年度は、整理収納アドバイザーの方にお話を頂く予定です。また、市P連研究大会には、毎年40名以上が参加。自らが積極的に学び、子どもたち

を(学校教育目標である)「自立」へと導けるよう、研修の機会を大切にしています。

3 ミニバレーで懇親を深めます！

厚生委員会主催のミニバレー大会には多くの会員が参加します。大会後には懇親会もあり、学級や学年の枠を超えて子どもたちを支える絆を深めます。また、学年委員会が中心となった学年・学級レクも綿密な計画の下に盛んに行われています。

4 広報誌「みどり」で知らせます！

広報委員会が編集し、学校での様々な出来事をPTA目線で明るく楽しく情報発信。「みどり」の紙面には、PTAは、PTAの深愛があふれています。



友情、ほほえみ、フェアプレー

岩見沢市バスケットボール連盟

市内で行われている活動から二つ紹介します。

★岩見沢ミニバスケットボール少年団

市内の競技人口の底辺拡大などを図るため、平成17年10月に行われた体育の日記念大会を通じて市内全域から団員を募集、翌年4月に50名を超える人数で少年団が結成されました。

最初の大会では連戦連敗、それも大きく点差をつけられ、選手、保護者、指導者とも心が折れそうになりましたが、「試合後の笑顔のため」という少年団の団旗の言葉を胸に諦めないで取り組み、8年目を迎えることができました。

今年度は、男女合わせて33名が学校開放を利用して週4回練習しています。送迎などで協力してくださる保護者の皆様には感謝の気持ちで一杯です。

6月の南空知地区大会で女子が初優勝し、北海道大会に出場しました。4試



北海道大会

合で1勝3敗でしたが、子どもたちには試合の結果以上に得るものがたくさんあったことと思います。11月には6年生最後の地区大会が始まります。今度は男女で北海道大会に出場できるように、団旗の言葉を忘れずに練習を積んでいきます。

★バスケット

平成22年3月に教育大学岩見沢校の地域連携活動の一環として、小・中学生のスキルアップを目指してスタートしました。翌月から「バスケット」という名称で、月2回、年間20回程度、同校バスケットボール部や地元クラブチームの協力を得て開催しています。

現在、初めてボールを触る子どもから部活動後の中学生まで30〜40名という幅広い年齢層が集まって活動しています。市内だけでなく、夕張市、美幌市、札幌市、恵庭市など市外の子どもたちも多く参加しており、昨年3月には「第1回オニオンカップ大会」を開催するなど、地域や近郊の子どもたちが参加できる活動として続けています。



第1回オニオンカップ大会

合唱におもいを寄せて

コールアイリス

私たちコールアイリスの活動としては、5月に「合唱の集い」があり、中学校の合唱部、混声合唱団など各団体と交流しています。

ファイナーレでは「交響詩岩見沢」を参加者全員で歌います。この曲は、加藤愛夫さんが作

詞され、1973年に川越守さんによつて作曲されたもので、岩見沢を開拓した先人の夢と希望がつづられています。今年も岩見沢市開基130年の式典の中で歌われることになっています。



全日本おかあさんコーラス全国大会

7月には全日本おかあさんコーラス北海道支部大会があり、毎年参加しています。2011年には念願だった4度目の全国大会に出場し、九州の福岡シンフォニーホールで委嘱曲「風の季節・花の季節」を演奏することができました。

10月の文化連盟主催の市民の文化祭では、楽器を演奏する団体、合

唱をする団体など音楽を愛する仲間と交流を深めています。

私たちコールアイリスは、町内会の婦人サークルとしてスタートして今年で55年になり、10月5日に創立55周年記念演奏会を開催する予定です。年を重ねて歌い続けてきた私たちが情熱タツプりに指導してください。横山義子先生の発案で、作曲家として活躍されている寺嶋陸也さんを客演ピアノストとしてお迎えし、合唱（うた）とともに未来の子どもたちにメッセージを送りたいと思っています。

また、先生から「チクチクキモノプロジェクト」のお話をお聞きして共感した私たちは、「忘れてはいけない」2011年の震災の記憶を残すため、津波で流された着物の端切れを使い、一針一針心を込めてタペストリーを縫い上げ、札幌の「ギャラリー門馬」と岩見沢の「まなみーる」に展示する活動も行いました。

今後合唱を通して、「繋がる」伝える「喜び」を仲間と一緒に広げていきたいと思っています。



みんなで食育

近年、朝ご飯を食べない子どもの増加や、栄養バランスの取れていない食事による肥満、痩身などが、子どもたちの健康状態に何らかの影響を与える可能性が指摘されています。子どもたちが健やかに成長し、生涯にわたり健康で豊かな生活を送るうえで、健全な食生活の形成は重要な課題となっています。

教育委員会では、子どもたちが学校給食を「生きた教材」として、地場産物を通して地域の文化や産業への理解を深め、食についての正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう、給食指導・栄養指導を実施しています。栄養教諭4名が、小学校15校と中学校10校を訪問し、調和の取れた食事、適切な運動、「早寝・早起き・朝ご飯」をテーマとして食の指導を

行っています。暑かった夏もようやく終わり、いよいよ食欲の秋・スポーツの秋を迎えます。この機会に、ご家庭でも、毎日の食事や運動のことを家族みんなで話題にしてみたいかがでしょうか。



教育長室から

年に一度、教育委員による学校視察を実施しています。市内の全小中学校とすみれ幼稚園、緑陵高校の計27校に行きます。学校経営の重点的な取組の説明を受け、わずかな時間ですが授業を参観します。教師や子どもの様子、学級の雰囲気なども含め、気づいたことを学校に伝え、今後の取組に生かしてもらっています。そこで、授業参観の際に

私が気に留めていることを紹介します。自分の教員時代の反省も込めて――

出るのが教室です。掲示物が工夫され、整理整頓された教室には、正義を愛する子どもが育つものです。

「学校視察」で感じていること

○学級目標

「目標がなければ集団は育たない」と言われます。「こんなクラスにしていく」という明確な目標を、いつも子どもの目に触れる場所に掲示しておくことが学級づくりには欠かせません。

重要です。黒板に何も書かれていないと、何をしているのか分からない子どもも出てきます。板書がよいノートもきちんと取れ、家庭学習にもつながります。



○板書

授業の中で板書はとても

○服装

暑い教室では教師のラフな服装も分からない訳ではありません。しかし、体育の授業や参観日、卒業式などで、そのTPOに合った服装を率先垂範する後ろ姿を子どもに見せるのも大切な教育です。

○上靴

万が一の場合に安全に避難させるために、子どもには上靴を履かせています。教師も、子どもの安全確保と避難誘導のために、授業中は上靴を履くべきです。

家庭でできる

簡単給食レシピ♪

「ワンタンキムチスープ」(7月の給食より)

材料(4人分)
 ぎょうざの皮…10枚程度 キムチ(漬物)…80g 豚もも肉…50g
 レタス…1/4玉 人参…1/3本 しめじ…1/2個 長ねぎ…1/2本
 玉ねぎ…1/2個 にんにく…1片 三温糖(砂糖)…大さじ1
 とりがらスープ…1カップ 醤油…小さじ1
 お好みでキムチの素…少々

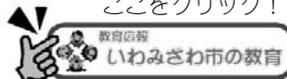
- **作り方**
- ① ぎょうざの皮、豚肉、レタスは一口大に切る。
人参は、いちよう切り、玉ねぎはスライス、にんにくはみじん切り、長ねぎは小口切り、しめじはほぐす。
 - ② にんにく、豚肉を炒める。
 - ③ とりがらスープを入れて、人参、しめじ、玉ねぎの順に入れて煮る。
 - ④ 三温糖、醤油で調味する。
 - ⑤ キムチ、ぎょうざの皮、レタス、長ねぎを入れてできあがり。
※お好みで、キムチの素やとうがらしで辛さを調節する。

ひとくちメモ



給食では、岩見沢産の小麦「キタノカオリ」を使用したワンタンを使っています。もちもちした歯ごたえで人気の献立のひとつです。キムチの辛さもスープにすると食べやすくなります。ぜひ一度お試しください。

教育広報のWEB版でカラー写真もご覧いただけます！
 市教委HPのトップページにある、このバナーをクリックしてご覧ください。



=ご意見・ご要望をおよせください=
 <担当> 岩見沢市教育委員会学校教育課情報企画係
 〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地 であえーる岩見沢3階
 ☎ 0126-35-5123
 FAX 0126-25-2995
 メール ejyouhou@i-hamanasu.jp